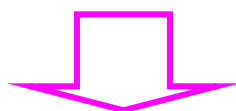


相馬病院看護部目標紹介

★★平成26年度看護部目標★★

1. かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部
2. 良質な看護の提供
「安全強化」「些事徹底」
3. 職場環境の改善



皆様もご存じの方がいらっしゃると思いますが、平成26年度は診療報酬の改定があります。2025年問題といわれる日本の課題に向かって、国は医療改革を進めています。これは超少子高齢化に向かい、人口の減少などで引き起こされる問題を想定して、日本中の病院の役割を決めて病床を減らし、住み慣れた家庭や地域で療養する在宅医療への移行を主な目的としています。

当院でも国の方針に従い、「地域のかかりつけ病院」という役割を基盤として継続していくのは当然ですが、経営方針の見直しが必要です。

看護部としましては、経営方針に従い柔軟な対応ができるようにしていきます。

主には在宅・外来・病棟の連携を重視し、継続看護サービスの更なる充実です。

また、従来から目的としています『良質な看護の提供』は今年度も目標に掲げます。昨年度の看護部目標ブログにも掲載しましたが、看護部理念の根幹となるのは『安全・安心』な看護です。

人間は完璧でなく誰もがミスを起こすことがあります。しかし、医療の現場でミスを起こしてしまったことで、患者様に不利益が生じてはなりません。昨年度は看護部安全対策委員会の活動や部署の取り組みで安全に対する意識が更に高まり、インシデント報告数でも明らかかなようにより安全に対する意識が向上したといえます。

今年度も病院・看護部としての取り組みは当然のことながら、各部署では昨年度のインシデント集計に基づき、部署の発生傾向に対する取り組み強化を「些細なことも真面目に

一生懸命に徹底して取り組む」ことで今年度も継続します。

三つ目の目標は職場環境を改善し、看護職員の定着・離職防止に繋げていきます。近い将来日本の人口は減少となり、日本女性の労働力率を年齢順につないだグラフでも、30代の落ち込みとされる「M字カーブ」に企業は女性の登用課題として取り組んでいます。

当院では常勤非常勤の看護職員の8%が男性看護職員です。これは決して低い数値でないと思われませんが、まだまだ女性が主体の職場であるといえます。

今年度は看護協会の事業の一環の「看護職員のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業」に京都府内の病院の5病院の一つとして参加することになりました。

「結婚・出産・育児」以外でも生き方の選択として「休養」「学習」「地域活動」など様々な生き方があります。仕事と生活、これら両方の調和を充実させて自分の事情に合わせて働くことができる職場づくりをしていくことが事業活動のメインになります。看護部だけでなく病院全体がそういった環境になるように先陣を切って取り組みます。

現状把握と課題を見つけ出し、働きやすい・勤続できる職場をめざし、看護職員にも選ばれる職場として新たに目標としました。

3つの目標には細かな数値目標があり、部署目標も立案・評価しやすいようにしました。各部署の目標をご紹介します。

★★平成26年度外来・手術室目標★★

『地域のかかりつけ病院として、外来・入院対応が 安心・安全に素早くできる外来・手術室』

今年度は、かかりつけ病院としての役割を果たすために、いつでも患者様の受け入れができるような体制づくりを目標にしました。

患者様をお持たせすることなく、特に予約入院では、ご入院までにかかる時間を短くして、スムーズにご案内させていただくことが患者様サービスにつながると考えます。また、患者・家族様が、不安や心細くならない配慮として、来院される時には外来ご案内係りから声掛け、出迎えができる、病状に合わせた対応が素早くできるような目配り・気配りのできる外来を目指します。

また患者・家族様からの貴重なご意見『苦情・クレーム』については、科長が直接お話を伺い、原因調査、分析、同じことが繰り返さないよう対策を講じたいと考えています。

さらに、基準に応じた在院日数で入院期間も短くなるため、退院後の自宅での生活状況の確認や生活指導に取組み、『外来から始まる退院支援』として患者様に寄り添い深く関わり、チーム・カンファレンスをはじめ、認定看護師・訪問看護師・多職種とも連携して、個別

性のある看護の提供を心掛けたいと考えています。

手術室においては、長時間に及ぶ手術や複数の手術の為長時間勤務もあります。手術以外でも環境整備をはじめ機器の点検や中央材料室業務も兼務して、業務量も多く煩雑です。時差出勤などの勤務形態で調整をし、長時間労働の改善をして、安全な環境を作ることが科長の役割であると考えています。

スタッフの健康を管理することは、患者様の安全を守ることにともつながり、病院の安全にもつながっていると思います。

ミスやエラーを誘発しない環境、『確認作業の徹底』を怠ることのない勤務姿勢、日々安全意识を持ち、患者・家族様から、〈感じのいい病院〉と評価していただけるよう日々指導して、目標達成に向けて取り組みます。

★☆☆平成26年度病棟目標☆☆★

『地域のかかりつけ病院として

入院から退院まで安心できる継続看護の充実』

26年度の看護部目標 『かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部』に病棟として何をすべきかを考えました。

当然のことですが、病棟は病院内でご入院患者様対象に看護を提供させていただく部署です。かかりつけ病院として医師の指示で入院が必要な方をすべて受け入れる体制を整え、24時間常に対応する事は当然のことですが、その中には「安心出来る」事が不可欠だと考えています。安心して入院することが出来、安心して在宅に戻っていただける、その為に必要な看護の提供をすることが看護部目標の中の病棟の役割だと考えます。

患者様が退院してからも安心して生活の場で暮らしていただけるためには、入院早期から退院後の生活を視野に入れた関わりが大切です。必要とする退院調整の方向性を導き出せるよう、昨年度より訪問看護に同行し在宅で生活をしている患者様の様子をスタッフに実際に感じてもらう機会を作っています。患者様・ご家族様の思いを尊重し、疾患を持ちながらも、安心して自分の居場所で生活できるよう継続した看護を提供していきたいと思っています。

また、一昨年より継続し毎年の部署目標に「安全強化」掲げてきました「安全」が無ければ「安心」には繋がりません。安心安全な病院・職場にするためには、あたり前の事をきちんと出来ている事が大切です。一人ひとりの注意力や気付きが必要です。その為にはスタッフが仕事と私生活を充実し心身ともに健康に働けること、また、疑問に思ったこと等何でも話し合える安全な職場環境を整えることが科長である私たちの役割だと考えています。

今後も些細なことも真面目に徹底し、スタッフ一同協力して看護部理念の「自分がうけてみたい」心のこもった安心・安全で良質な看護の提供を志し「かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部」を目指したいとおもいます。

★☆☆平成26年度透析室看護目標☆☆★

『些事徹底で、安心・安全な環境の提供』

『患者様に配慮したスタッフの言動・行動の徹底』

透析室は血液を体外循環させて治療を行う場です。ミスがあれば大きな事故にも直結します。その為当然のことですが、安全を強化し安心な治療環境を整える事が何より重要だと考え目標を設定しました。昨年度は発生したインシデントに対しその一つ一つを検証し是正策を立て実施する事を目標とし1年間繰り返し実行した結果、一昨年に比インシデント数の軽減に繋がられました。当たり前のことですが、決まった事をきちんと行い確認を徹底した結果だと考えとます。一人一人が正確な判断能力と些事徹底が出来るよう、心身ともに健康で働ける事、また疑問に感じたこと等何でも話し合える安全な職場環境を整えることが科長である私の役割だと感じています。

些細なことでも日々真面目に徹底していき、安全な環境で安心して治療をうけて頂ける環境を提供したいと考えています。

また、透析室は1フロアーに17床の透析治療スペースとなっています。その為どうしても職員同士や、患者様へ話す内容も全て耳にする現状となっています。自分もそうですが、普段は何気なく感じる事も、しんどい時はつらく感じる事もあります。話す内容や声のトーン・物音など、患者様の立場に立って考え行動していく事で、数時間拘束される透析治療を少しでも安楽に過ごして頂きたいと思います。また、昨年透析開始時間を外来治療開始時間に戻した際、待合室が設置出来ない現状をどうにか改善できないかと考え、現在患者様の更衣室のリニューアルにとりかかっています。ゆっくり座ってTVを観たり本を読んだりして頂けるスペースを設け待ち時間を少しでも快適に過ごしていただける場所になればと思っています。また、昨年度は専用駐車スペースを設けましたが、他にもサービスの提供として可能なことは提案していきます。

今後も看護部理念の「自分が受けてみたい」心のこもった安心・安全で良質な看護の提供を志し『かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部』を目指します。

★☆☆平成26年度訪問看護ステーション目標☆☆★

『より良い自宅療養生活を支える』

『訪問看護師になろう』

『気づく力』『考え工夫する力』『コミュニケーション力』『マネジメント力』

早いもので、訪問看護ステーションを開所して3年目に突入しました。

昨年度は1年目に築いた基盤をもとに、人材育成をさらに強化し、質を重視した看護の提供を心掛けてきました。

その甲斐あって、スタッフのスキルアップにつながり、ご利用者様からは“安心できる”などのお声を頂くことができるようになってきました。

スタッフが増員した今年度も

I.安全強化として

- ①在宅におけるインシデント・アクシデントの認識がスタッフ間で共有できる。
在宅における基準を周知し、本来報告すべき件数を上げることができる。
- ②防災活動の実施：演習事例の実施・・・3回 / 年

II.人材育成として

- ①各個人の専門課題および段階別課題がクリアできる(別紙にて管理)。
- ②参加した研修内容を現場スタッフへ還元できる。
*ステーション内の勉強会の実施 2回 / 月

III.継続強化として

- ①在宅療養部での有効なカンファレンスの実施により問題点を共有し、解決へつなげることができる。
- ②地域との継続看護の強化
*医療・福祉・行政との情報共有が密にできる。
という目標を継続して頑張っていきます。